

# 白銅株式会社 会社説明資料

2025年8月25日

白銅株式会社（証券コード：7637）

## 1.白銅株式会社の概要

## 2. 目指す将来像

## 3.株式情報

## 4.サステナビリティ経営の推進

# 1. 白銅株式会社の概要

---

# 会社概要



あたらしい、を、素材から。

社名	白銅株式会社
上場市場	東証プライム市場（7637）
本社	東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル11階
創業	1932年2月
業種	非鉄金属卸売業
従業員数	827名（2025年4月1日現在）
事業内容	アルミニウム、伸銅、ステンレス、特殊鋼、プラスチック等の板、棒、管の加工・販売
機関設計	監査等委員会設置会社 （指名・報酬等諮問委員会設置）
役員構成	社内取締役4名 社外取締役5名

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期 業績予想
売上高	616億円	572億円	664億円	672億円
経常利益	39億円	28億円	32億円	25億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	27億円	19億円	22億円	16億円
純資産	212億円	224億円	237億円	-
総資産	431億円	420億円	447億円	-
自己資本比率	49.1%	53.5%	53.1%	-
R O E	13.3%	8.8%	9.4%	-
年間配当 （配当性向）	109.00円 （45.2%）	80.00円 （47.3%）	89.00円 （45.1%）	80.00円 （53.7%）



# 取得認証

**品質・環境・情報セキュリティ**において、JISの規定要求事項に適合するマネジメントシステムを確立し、実施し、維持するための取り組みを実施しております。

## JIS Q 9100 [航空宇宙]

ISO 9001をベースに、  
航空宇宙産業特有の  
要求事項を織り込んだ  
品質マネジメントシステムの  
国内規格

## JIS Q 14001 [環境] ※1

組織が環境パフォーマンスを  
向上させるために  
用いることができる、  
環境マネジメントシステムの  
要求事項についての  
国内規格

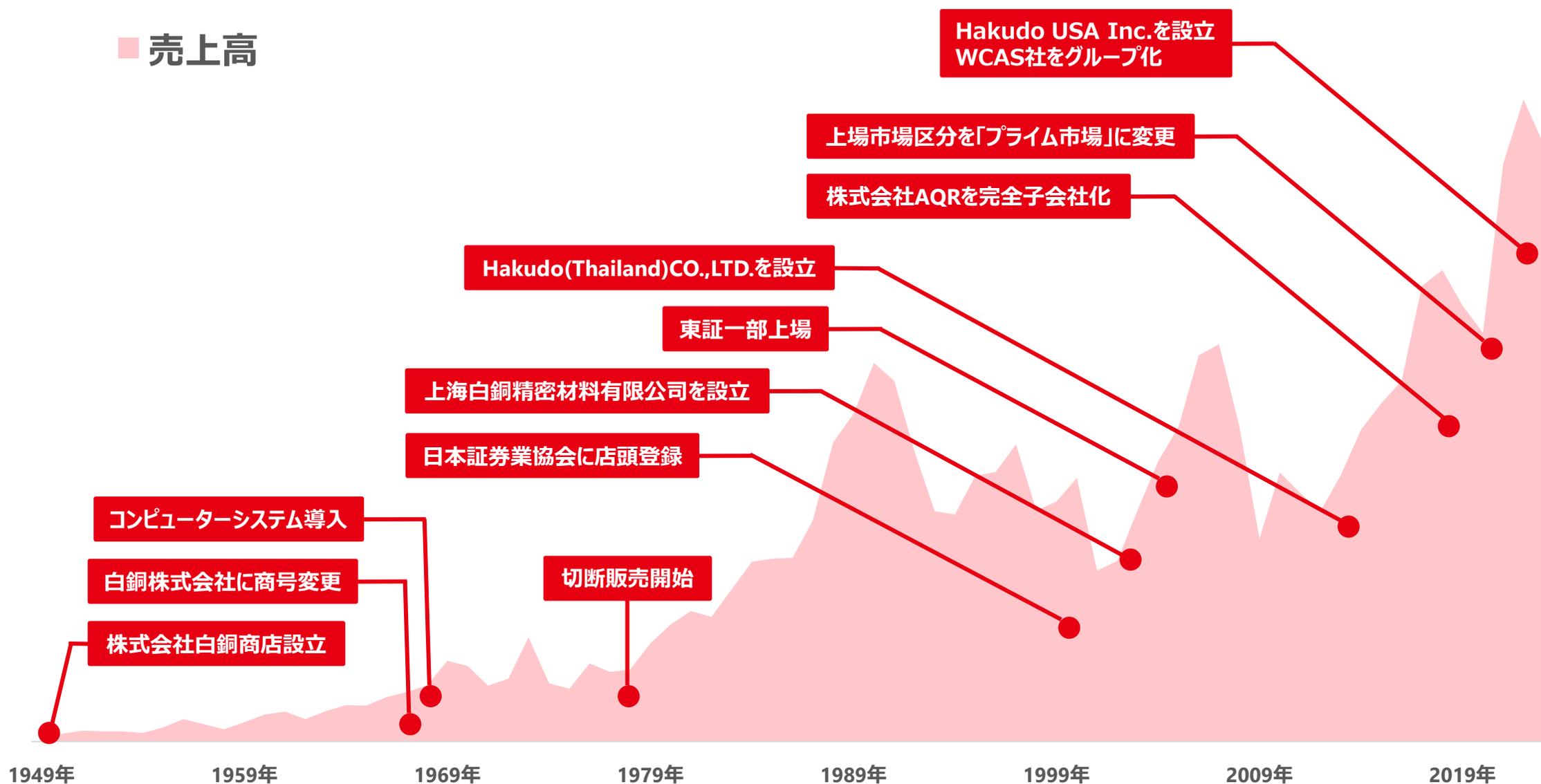
## JIS Q 27001 [情報セキュリティ] ※1

情報資産の総合的な  
情報セキュリティ・  
マネジメントシステムである  
「ISMS」の認証基準となる  
国内規格

※1 認証範囲、認証取得組織等の詳細情報については、当社ホームページをご参照ください。

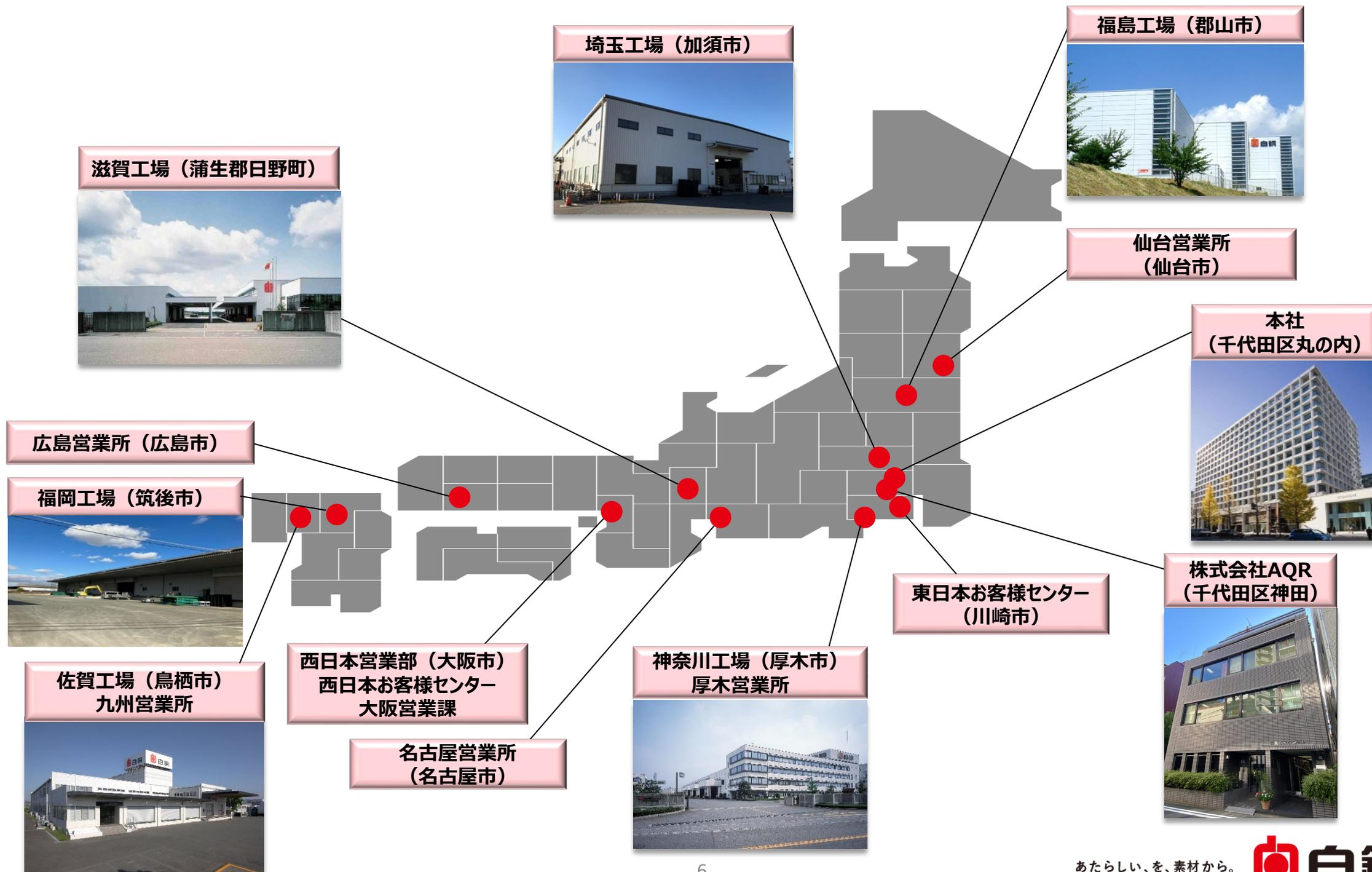
# 沿革

白銅は、非鉄金属をはじめとする産業用素材の提供を通して、「モノづくりを強力にサポートする会社」を目指しております。



# 国内拠点

全国に8か所（子会社含む）の営業拠点と6か所の工場を設置しています。



# 海外拠点

子会社と複数の提携企業により、中国、東南アジアおよびアメリカに展開しています。



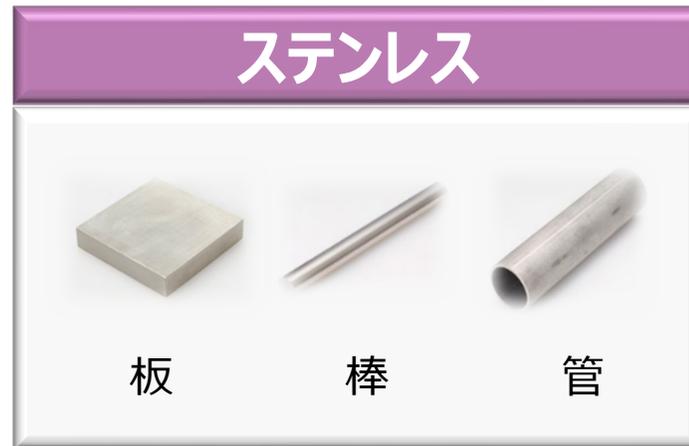
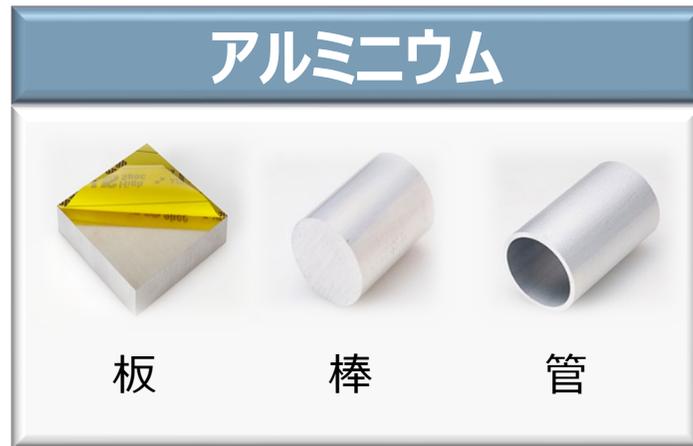
アジア



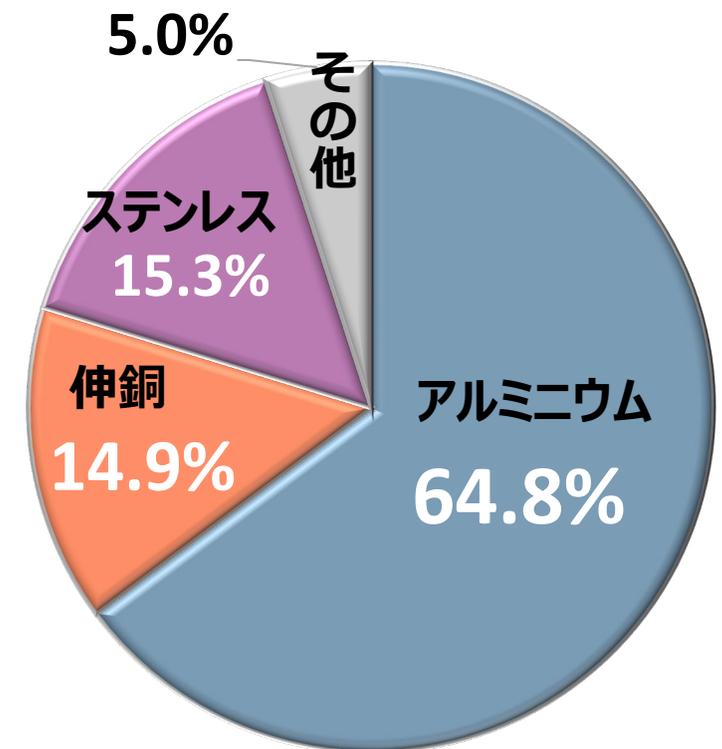
アメリカ

# 事業内容（当社取り扱い製品）

当社が取り扱う商品は、アルミニウムや伸銅、ステンレス等の非鉄金属および鋼、プラスチックなどの素材です。

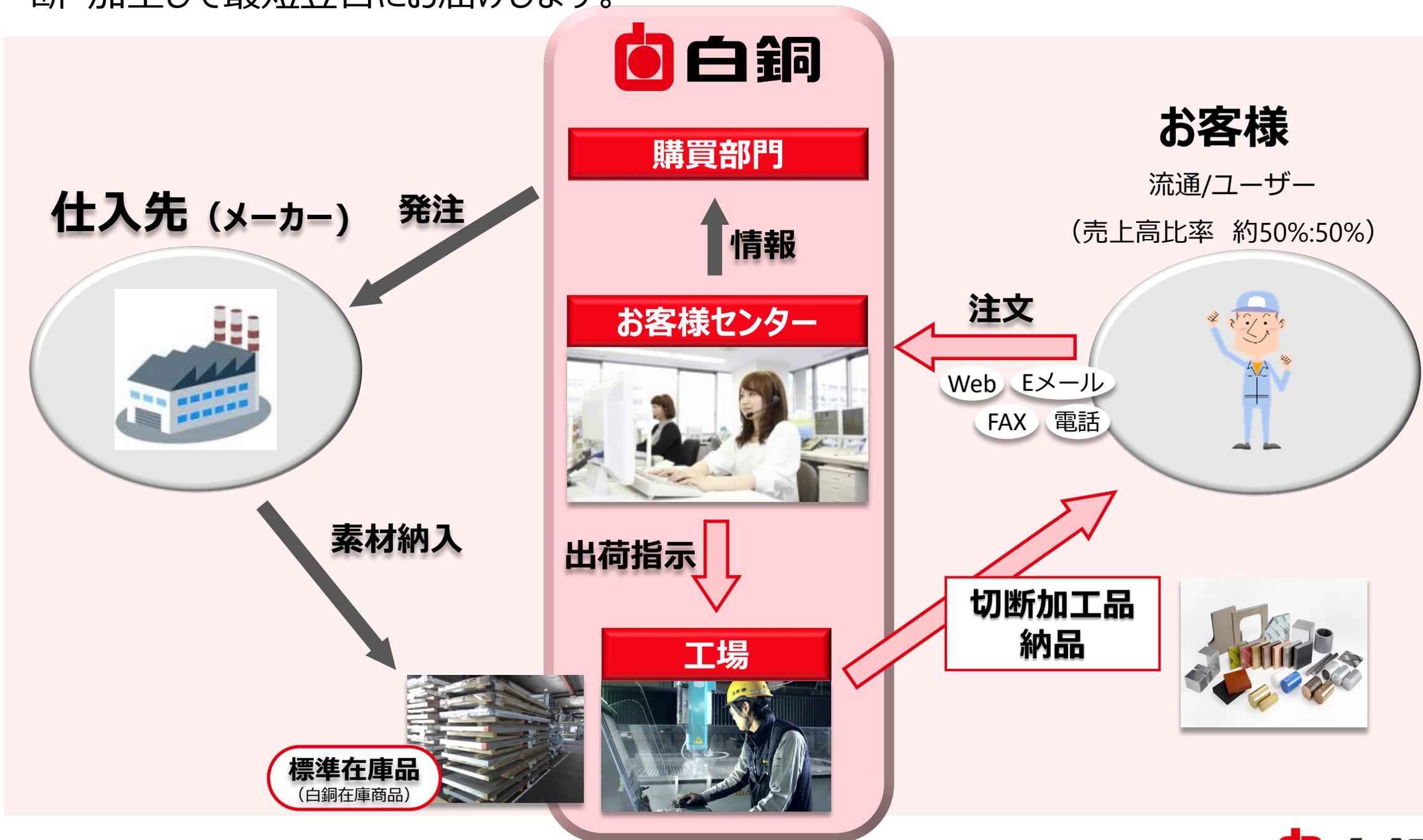


【 品種別売上高構成比 】  
2026年3月期 1Q



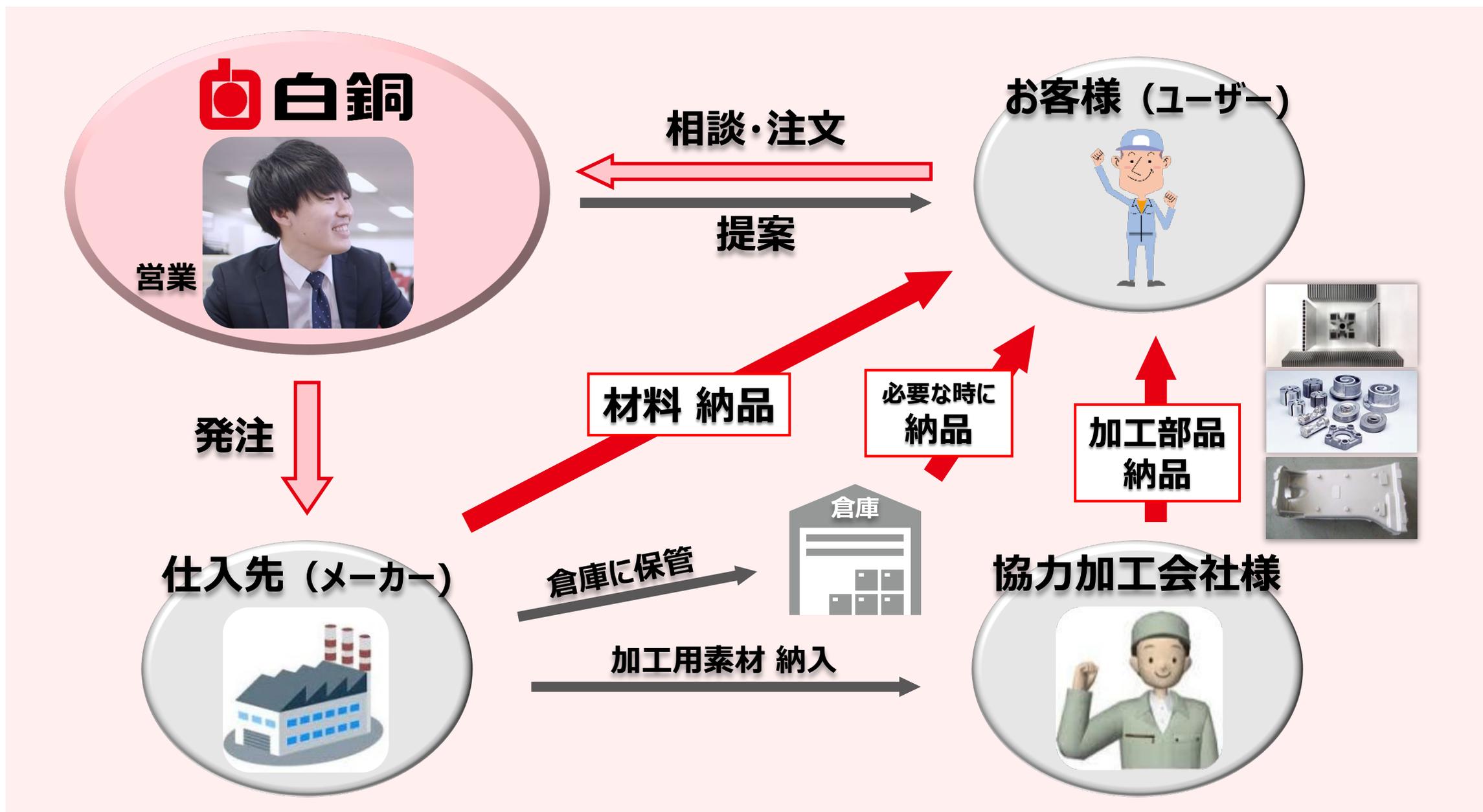
# ビジネスモデル① 標準在庫品

アルミニウム・伸銅・ステンレス・特殊鋼・プラスチック等を中心に、幅広い産業用素材を切断・加工して最短翌日にお届けします。



## ビジネスモデル② 特注品

当社工場を介さず、お客様のご要望に応じて提案を行い、製作したオーダーメイドの材料や加工部品をお届けする「金属材料のコーディネーター」ビジネス。

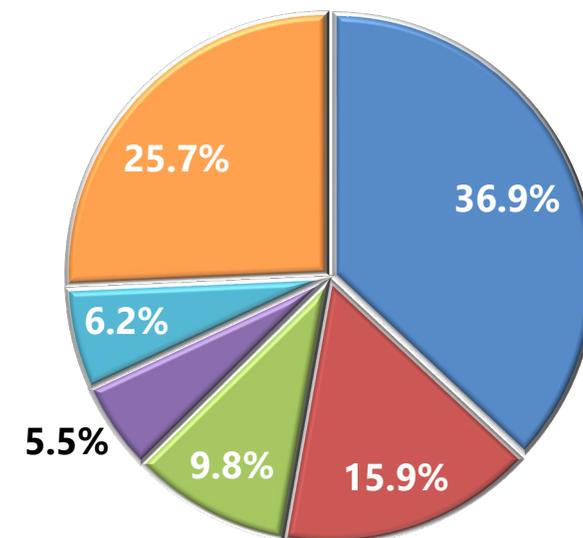


# 当社製品の用途・顧客業界

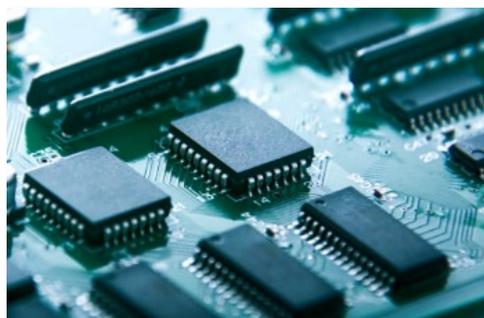
半導体製造装置・FPD製造装置業界を中心に、民生の家電や航空機に至るまで、幅広い分野に使用されています。

品種	業界	使用用途例
アルミニウム	半導体・FPD製造装置	製造装置のチャンバー材
	工作機械	ロボット、空圧・油圧機器
	家電	部品等成型用の金型
	造船	LNG船
	航空機	航空機構造材・装備品
伸銅	FPD製造装置	ターゲット材
	自動車	部品
	半導体	リードフレーム
ステンレス	半導体・FPD製造装置	製造装置のチャンバー材
	食品	製造装置の部品
特殊鋼	自動車	車体構造部品、各種金型
	家電	各種金型
樹脂	自動車	バンパー、インパネなど内外装部品
	半導体・FPD製造装置	搬送設備部品、絶縁部品
	食品	梱包材、搬送設備部品

【業種別売上高構成比(国内)】  
2026年3月期  
1Q



- 半導体・FPD製造装置
- その他工作機械
- OA機器
- 自動車・自動二輪車
- 航空・宇宙関連
- その他



# 特注品 取扱い例

圧延、押出メーカー、部品加工メーカーとタイアップし、お客様の幅広いご要望にお応えします。

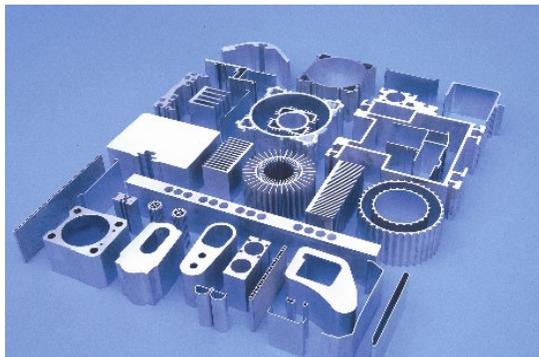
圧延品	押出型材	機械加工品	輸入金型および金型部品
半導体製造装置・FPD製造装置向けスケッチ材、チャンバー材	空圧部品 シリンダーボディ部品 マニホールボディ部品	図面による注文で金属部品・製品、治工具等を製作	プラスチック金型用 ダイカスト金型用

## 寸法指定でオーダーメイド



様々な材質の板を指定寸法で製作可能。一般的な規格サイズを超える大型材料の提供や、指定寸法で製造することにより歩留まりを向上し、コスト削減を実現いたします。

## 複雑形状でも高い寸法精度



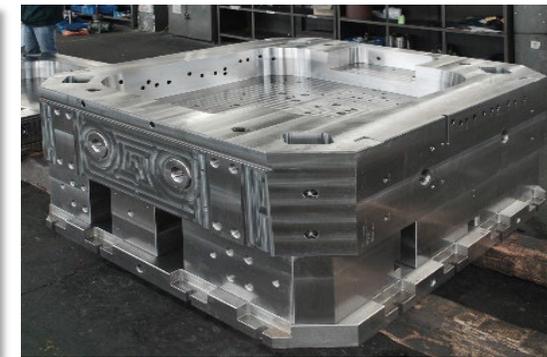
製品に近い形状で押し出すことにより、材料の重量を軽減することができ、さらに加工工数の削減と合わせて、コストダウンに大きく貢献します。

## 国内海外のネットワークを駆使



国内・海外のお客様と連携して形成した加工ネットワークを駆使して、最適な企業を白銅が選定し、機械加工品を提供いたします。

## 低コスト・高品質を実現



白銅グループが厳選した中国のモールドベースメーカーで製作した製品を徹底した品質管理の下に提供します。

# 「ダントツ」の価値

「ダントツの品質」「ダントツのスピード」「ダントツのサービス」により、「納得の価格」の実現を目指します。

## ダントツ の品質

### ◆ JIS Q 9100 (航空宇宙) 認証取得 ◆

JIS Q 9100の認証を取得しております。  
非鉄金属および鋼、プラスチックの加工に加えて、**金属3Dプリンター**の受託造形サービスにおいても、航空宇宙産業に求められる**品質マネジメント条件をクリア**しました。

### ◆ トレーサビリティ ◆

自社工場のIoT化により、材料の製造ロットのみならず、加工作業者・加工機械の履歴等も追跡できます。  
また**QC工程図どおりに加工**できているかをチェックする体制も整えています。  
材料については**インターネットからミルシートの取得**も可能です。

## ダントツ のスピード

### ◆ 白銅ネットサービス ◆

インターネットから**24時間365日**、見積り・注文できる『白銅ネットサービス』により、**価格と納期を即時回答**します。  
標準在庫品に加え、お取寄せ品も価格と納期を即時回答します。

### ◆ クイックレスポンス ◆

お客様センターは、**電話・FAX・e-mail**でのお引き合い・お問合せに**30分以内の対応**を実現します。

### ◆ クイックデリバリー ◆

日本**国内6か所**に在庫・加工工場を持ち、最短で**翌日配達**を実現します。

## ダントツ のサービス

### ◆ 豊富なラインアップ ◆

アルミ・伸銅・ステンレス・特殊鋼・チタン・プラスチックなど、標準在庫品**5,600**アイテムに加え、お取寄せ品**150,000**アイテムもご提供します。

### ◆ 多彩な加工バリエーション ◆

**マシニングセンター**による加工をはじめ、**フライス・研磨**加工の他、**コンターマシン**や**ウォータージェット**加工機、**レーザー**加工機による異形切断、専用の円形加工機による**サークルフライス**などの加工に対応可能です。

### ◆ ワンストップ ◆

国内に限らず**海外**の協力会社様のネットワークも駆使して、材料、加工品・表面処理などのご要望にも**ワンストップ**で対応します。

### ◆ 小口対応 ◆

**1枚・1本・1グラム**からご指定の寸法に切断・加工し、最短翌日で日本全国にお届けします。

## 納得の価格

白銅がご提示させていただく価格は、その**品質・スピード・サービス**を踏まえ、お客様に**ご納得いただける価格**を目指しております。

# 重点戦略の実施状況

## (1) 白銅ネットサービスの進化による顧客基盤の強化・拡大と利益率の向上

当社標準在庫品  
約**5,600**アイテム  
+  
他社在庫品(取寄せ)  
約**150,000**アイテム

※2025年6月末時点

ご利用企業様数  
約**15,000**社様  
ご登録ユーザー様数  
約**31,000**名様

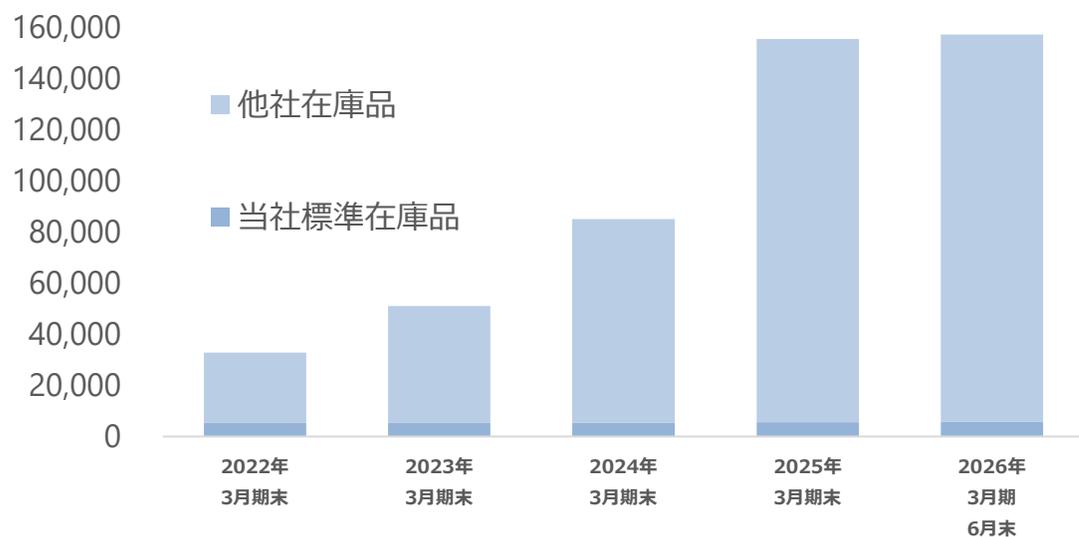
※CSネットサービスの登録件数を含む  
※2025年6月末時点

画面リニューアル  
& 新機能追加

使いやすさ改善と  
図面加工品の  
見積・注文機能強化

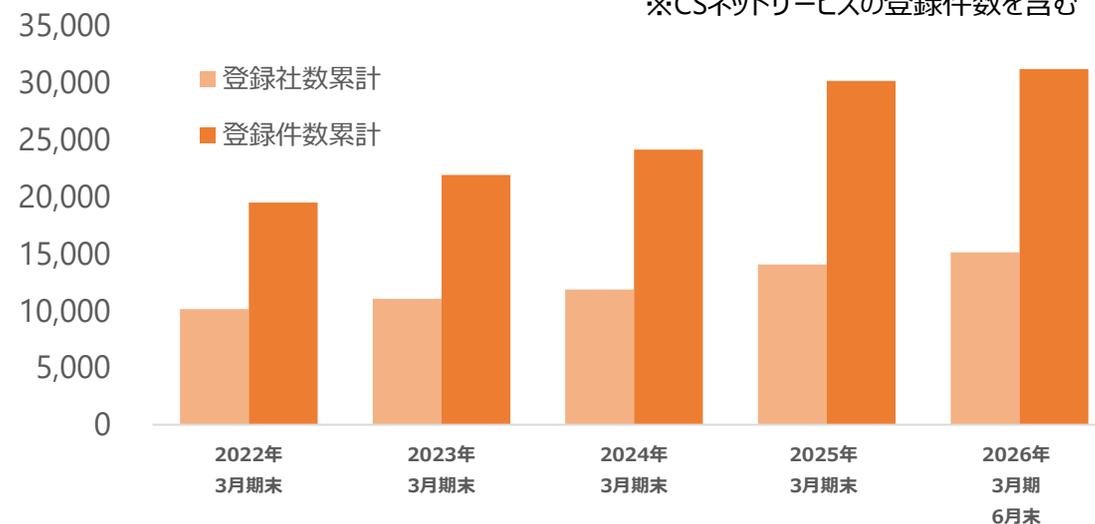


【白銅ネットサービス ご利用可能アイテム数】



【白銅ネットサービス ご利用登録社数推移 (累計)】

※CSネットサービスの登録件数を含む



## 2. 目指す将来像

---

# 2031年度の目指す将来像

創業100周年となる2031年度の目指す将来像からバックキャストイングして、中期経営計画を策定。

## 目指す方向性

- ◆ 顧客満足度向上による業績向上をステークホルダーに還元、その好循環により持続的な企業成長を図る
- ◆ 海外事業のさらなる拡大とEコマース事業の展開により、グローバルでの競争力を強化する



### 3. 株式情報

---

# 株式関連情報

株 価	2,313円 (2025年8月29日)
配当利回り <sup>※1</sup>	3.67%
株主優待 <sup>※2</sup>	あり
総合利回り	4.11~5.12%
P B R <sup>※3</sup>	1.10倍
P E R <sup>※4</sup>	12.3倍

※1 2026年3月期年間配当予想80円と2025年8月29日終値より算出

※2 配当利回りに優待利回りを加算

※3 2025年3月期実績と2025年8月29日終値より算出

※4 2025年8月29日終値と2026年3月期連結業績予想より算出

# 株主還元策（配当方針）

- 当社では、以下の配当方針に基づき配当額を設定しております。

配当性向（通期）

45%以上

年間最低配当額（新設）

80円

原則、いずれか高い金額を配当額とする。

# 株主還元策（配当実績と予想）

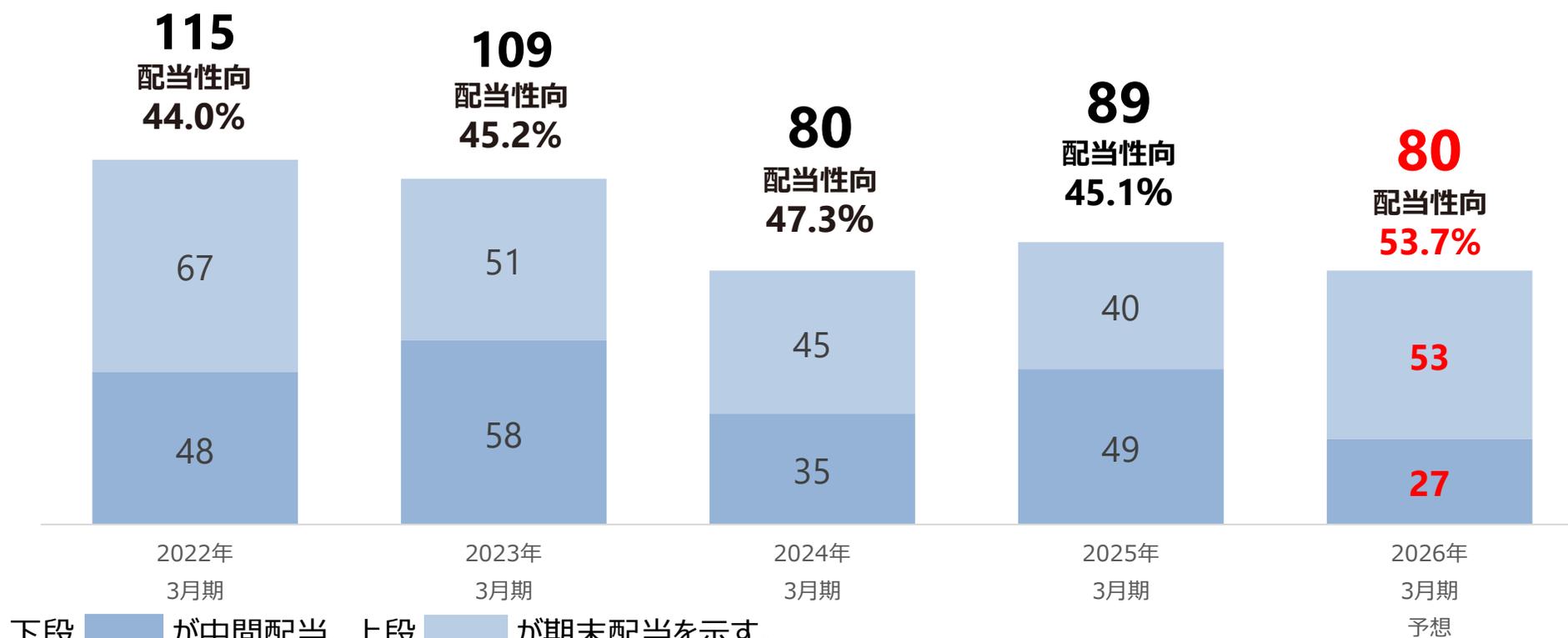
- 2025年3月期年間配当は期初予想から4円増配の1株あたり89円の配当を実施。
- 2026年3月期年間配当は1株あたり80円を予想。

## 2026年3月期 配当予想

### 配当方針

- ・通期配当性向45%以上
  - ・年間最低配当額80円
- 原則、いずれか高い金額を配当額とする。

(単位：円)



下段 ■ が中間配当、上段 ■ が期末配当を示す。

※2022年3月期は記念配当9円を含む金額

# 株主優待概要

**食**

全国各地から選りすぐられた旬の味覚を



**暮**

暮らしを彩る上質で洗練されたこだわりの逸品

**電**

話題の最新家電で日常をより快適に演出



写真はイメージです

株主優待ポイント表（1ポイント≒1円）

保有株式数	付与されるポイント	贈呈時期
300株未満	0ポイント	—
300～399株	3,000ポイント	毎年5月
400～499株	5,000ポイント	
500～599株	10,000ポイント	
600～999株	20,000ポイント	
1,000～1,999株	30,000ポイント	
2,000～2,999株	40,000ポイント	
3,000株以上	50,000ポイント	

※毎年3月末現在の当社株主名簿に記載又は記録された3単元（300株）以上保有の株主様が対象

## 4. サステナビリティ経営の推進

---

# サステナビリティ経営の取組状況（1/3）



- ESG/SDGs経営委員会の下に設置した分科会の活動項目や目標に対して、現在までの取り組み状況を下表に記載。取り組み状況などを取締役会に報告し、提言や助言を踏まえて活動中。
- CO<sub>2</sub>排出量は2030年度までの削減目標を前倒しで達成。
- 福島工場に太陽光パネル設置。2025年1月より稼働開始。
- 2025年4月より、社内のCO<sub>2</sub>排出量に対する意識向上と排出量削減に対する取り組みを促進させることを目的として「インターナルカーボンプライシング」を導入。

マテリアリティ	取組テーマ	2027年3月期までの活動目標	2027年3月期までのKPI	2025年3月期第4四半期までの取組状況
1. 環境負荷軽減・気候変動対応	CO <sub>2</sub> 排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>2030年度までに50%削減（2020年度対比）</li> <li>2050年度までのカーボンニュートラル達成に向け、具体的な削減策を推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CO<sub>2</sub>排出量</li> <li>自力施策により削減するCO<sub>2</sub>排出量</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 福島工場への太陽光パネル稼働開始</li> <li>✓ 電気自動車（BEV）を計6台導入</li> <li>✓ 2023年度、CO<sub>2</sub>排出量の削減目標達成(2020年度対比42%削減)</li> </ul>
	製造効率の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>天然資源の節約・枯渇抑制、環境汚染抑制による社会貢献を継続                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配送効率改善</li> <li>・ 産業廃棄物削減</li> <li>・ スクラップ率低下</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費電力量</li> <li>運賃低減率</li> <li>廃棄物金額</li> <li>製造部門消耗品費</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 配送網の再構築による効率化など配送効率の改善活動を実施</li> <li>✓ 設備の待機電力削減</li> <li>✓ 切削油リサイクルの施策を継続実施</li> <li>✓ 環境に配慮した梱包資材の導入</li> </ul>
	オフィスペーパーレス化の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>資源の無駄を排除し、リサイクル化を推進</li> <li>コスト削減とともに、自然環境保護へ貢献</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オフィス印刷費用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 会議資料の電子化による紙とトナーカートリッジ使用量の削減</li> </ul>
2. 責任あるサプライチェーンの構築	環境配慮製品の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境負荷に配慮した経営による社会貢献</li> <li>環境負荷の少ない商品（ECO商品等）の企画・導入および安定供給</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ECO商品販売重量</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ECO商品拡販とECO商品ラインナップ拡充</li> </ul>
	グリーン調達の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>サプライヤーに白銅独自のグリーン調達ガイドラインの遵守協力を促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グリーン調達ガイドラインの遵守先との覚書取交件数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ グリーン調達ガイドラインのHPへの開示と取引先とのガイドライン順次締結</li> </ul>
	サプライヤーとの関係強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>サプライヤーと協力し、CO<sub>2</sub>削減に配慮した施策の実施</li> <li>サプライチェーン全体におけるCO<sub>2</sub>削減を促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グリーンアルミ調達先発掘</li> <li>リサイクルアルミ調達先発掘</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ CO<sub>2</sub>排出量を抑えた“ECO63S四角棒”の販売</li> <li>✓ CO<sub>2</sub>排出量を抑えた商品の導入検討</li> </ul>
	人権の尊重	<ul style="list-style-type: none"> <li>サプライチェーン上のパートナーと協力し人権に配慮した経営を促進する活動を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自社における人権ポリシーの策定、運用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 人権デューデリジェンスへの取組み</li> <li>✓ 白銅グループ人権方針の浸透活動</li> <li>✓ 持続可能なサプライチェーンガイドラインのHPへの開示と取引先とのガイドライン順次締結</li> <li>✓ サプライヤーへのアンケート調査開始</li> </ul>

# サステナビリティ経営の取組状況 (2/3)



マテリアリティ	取組テーマ	2027年3月期までの活動目標	2027年3月期までのKPI	2025年3月期第4四半期までの取組状況
3. 社会への取り組み	次世代への貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本のものづくりの発展や人材育成の支援</li> <li>● 次世代の技術の発展や人材育成への貢献</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 産学協働検討案件数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 大学の研究室へ訪問し、協働可能な案件を模索</li> <li>✓ 学生向けの工場見学会の開催</li> <li>✓ 学生フォーミュラ・ロボコン大会参加学生への金属材料の提供支援</li> </ul>
	社会への貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 持続可能な社会への貢献</li> <li>● 従業員が誇りを持ち、社会から信頼される企業となるための取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域社会、団体への貢献活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 寄付の功績による「内閣府紺綬褒章」を受賞</li> <li>✓ 寄付型自動販売機による継続した寄付の実施</li> <li>✓ 社内の書籍を収集し、古本募金を実施</li> </ul>
4. 人材への投資	従業員満足度向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 従業員各自の生産性や顧客対応へのモチベーションの向上</li> <li>● 社会に与える影響力（社会貢献）、会社の業績に与える影響力の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 離職率</li> <li>● 平均残業時間</li> <li>● 有給取得率</li> <li>● 男性の育休取得率</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 有給休暇の取得しやすい環境づくり</li> <li>✓ 福利厚生に関するアンケートにもとづく、改善策の検討</li> <li>✓ スポーツクラブ利用促進のためのサポート継続</li> </ul>
	ダイバーシティの促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 多様な人材を登用、活用し、組織の生産性や競争力を向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 障がい者雇用率</li> <li>● 女性管理職比率</li> <li>● 外国籍管理職比率</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 障がい者向けの職場体験実施により、継続的な雇用を促進</li> <li>✓ 女性管理職研修及び女性管理職育成研修の実施検討</li> <li>✓ 外国籍従業員の積極的な社員登用の実施</li> </ul>
	健康で働きやすい環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 従業員の心の健康、身体の健康を促進</li> <li>● 社会生活における充実度の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高ストレス者比率</li> <li>● ハラスメント発生件数</li> <li>● 労働災害度数率</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 健康経営の推進継続（健康優良企業「銀」取得）</li> <li>✓ アンケート結果による高ストレス要因の分析</li> <li>✓ 専門家によるカウンセリングの実施</li> <li>✓ 職場巡視の強化によるヒヤリハットの未然防止</li> </ul>
	社員教育の拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 業務上で必要な知識・スキルの提供</li> <li>● 知識やスキルを身に着ける為の機会の提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一人当たり教育費用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 年間教育計画に基づく教育の実施</li> <li>✓ 新入社員研修の充実</li> </ul>

# サステナビリティ経営の取組状況 (3/3)



マテリアリティ	取組テーマ	2027年3月期までの活動目標	2027年3月期までのKPI	2025年3月期第4四半期までの取組状況
5. コーポレートガバナンス	違反者ゼロ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ゼロ・トレランスを目指した教育の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コンプライアンス違反件数ゼロ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ コンプライアンス研修の実施</li> <li>✓ コンプライアンスにおける理解度チェックの実施</li> </ul>
	ポリシー遵守状況確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各方針・ポリシーの遵守</li> <li>・白銅グループ人権方針</li> <li>・プライバシーポリシー</li> <li>・コーポレートガバナンス基本方針</li> <li>・サステナビリティ基本方針</li> <li>・ディスクロージャー基本方針</li> <li>・社内環境整備方針</li> <li>・教育・育成方針</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 左記の方針・ポリシーの対応状況確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 教育動画を配信し、全従業員の遵守度向上を推進</li> <li>✓ 方針・ポリシーガイドブックの配付</li> </ul>
	事業リスク・災害への対応強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業リスク評価とBCP見直しの徹底</li> <li>● 訓練・対策実施により、従業員の安全確保と円滑に業務を再開する仕組みの構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● リスク評価ポイント</li> <li>● 防災訓練等の実施数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ リスク評価ポイントの見直し</li> <li>✓ 全社一斉の安否確認訓練実施</li> <li>✓ 防災訓練実施</li> <li>✓ 工場の水害対策強化を検討</li> </ul>
6. ESG/SDGs経営委員会の社内浸透活動	社内浸透活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ESG/SDGsに対する意識の向上</li> <li>● ESG/SDGsに関する啓蒙活動、イベントの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ESG/SDGsの従業員定着率(アンケート調査による)</li> <li>● エピソードコンテストの累計件数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ サンクスカード導入による、従業員の円滑なコミュニケーションを推進</li> <li>✓ ESG/SDGs関連のポスター・書籍・動画の配付・配信</li> <li>✓ 植林・環境系ボランティア活動の調査</li> <li>✓ 当社事業所周辺の清掃活動に参加</li> </ul>
7. ESG/SDGsに関連した新商品・新サービスの創出	商品・サービスの具現化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新商品・新サービスの創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新商品・新サービスの導入件数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ FIT非化石証書の仲介販売開始</li> <li>✓ CO<sub>2</sub>オフセット関連の商品・サービスを検討中</li> </ul>

# サステナビリティ経営の取り組み例

白銅は、モノづくりを通じた社会への貢献に加えて、白銅ファームによる雇用創出など幅広い活動を行っています。

## 白銅ファーム



白銅は障がい者就労促進の一環として白銅ファームを運営しています。神奈川県横浜市と埼玉県三郷市に拠点を設け、2025年8月現在、11名の従業員が在籍しており、葉物野菜をメインに約30種類を栽培しています。

収穫した野菜は、子ども食堂への寄付や当社従業員に配付しています。

※ 2025年7月末時点の情報を元に作成

## スーパーミニマム チャレンジ



スーパーミニマムチャレンジとは、50ccエンジンによる最速記録に挑戦するプロジェクトです。米国ユタ州のボンネビルで毎年開催されています。

バイクには白銅が提供したアルミ材が使用され、2019年大会では世界最速記録を更新しました。

最近では、3Dプリンター造形部品も使用されています。

## コマ大戦



コマ大戦とは、全国の製造業者が制作したコマを持ち寄って戦うトーナメント式の大会です。各県で高校生コマ大会も開催されています。

神奈川県高校生コマ大戦には白銅が材料を支給して協賛するなど、日本のモノづくりの発展のための活動を行っています。

## 下町ボブスレー

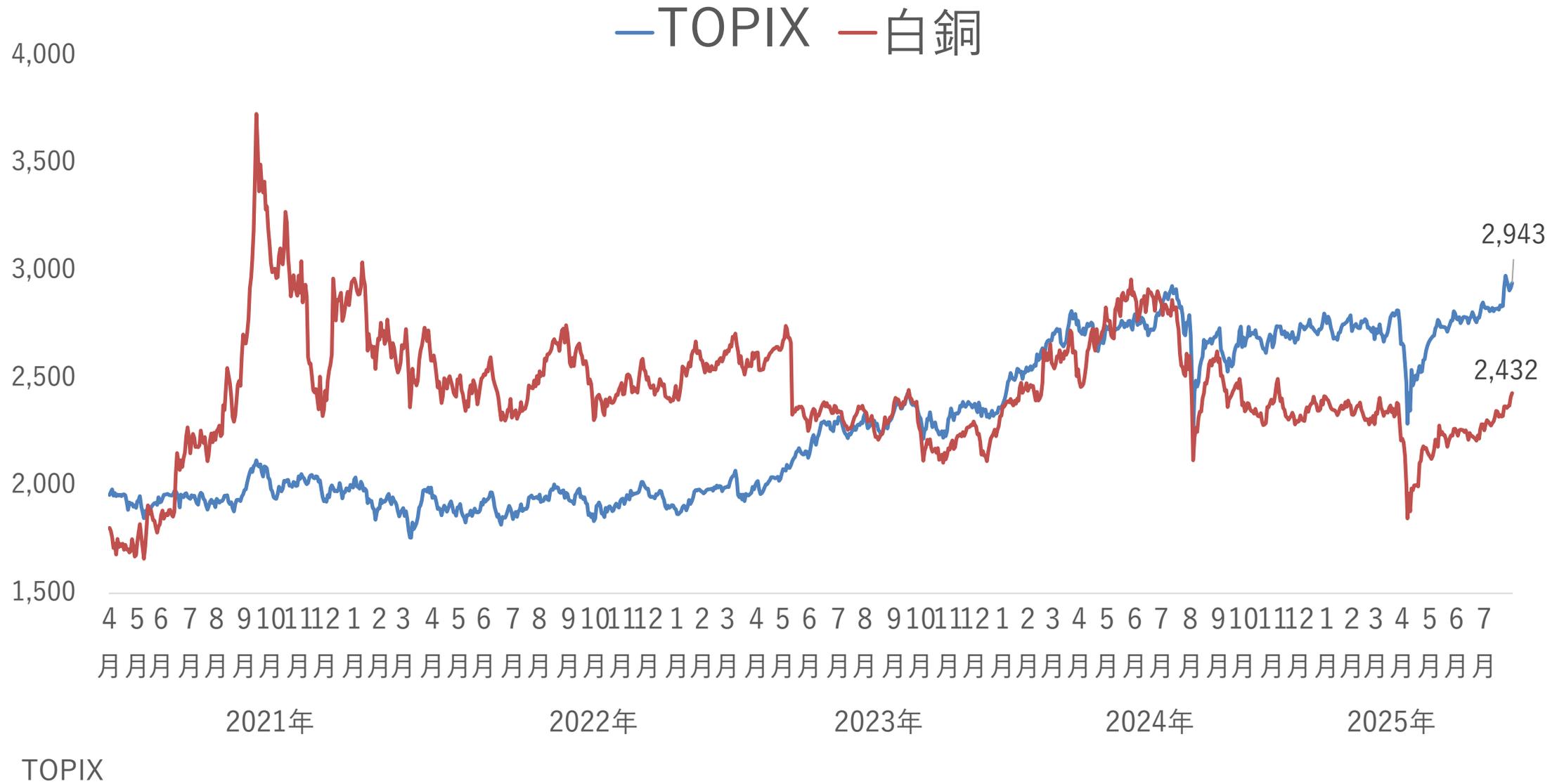


下町ボブスレーは、大田区の小さな町工場が中心となり、世界トップレベルのソリを作り、産業のまち大田区の「モノづくりの力」を世界に発信するプロジェクトです。

下町ボブスレーの材料は白銅が無償提供しており、製作されたボブスレーは2023年1月の世界選手権で19位の成績を残しました。

(写真提供：国際ボブスレー連盟IBSF)

# 参考指標 ～株価推移～



#### ■ 白銅公式SNSアカウントについて

弊社では、LINE、Facebookの公式アカウントを開設し、商品紹介や展示会の出展案内などのお役立ち情報を定期的に発信しております。右記のQRコードから、是非、お友だち追加をお願いします！

#### ■ 本資料における注意事項

この資料には、2025年8月現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競業状況等に関わるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

#### ■ お問い合わせ先

白銅株式会社 経営企画課  
メールアドレス：hkdkeiki@hakudo.co.jp  
ホームページ：www.hakudo.co.jp

